

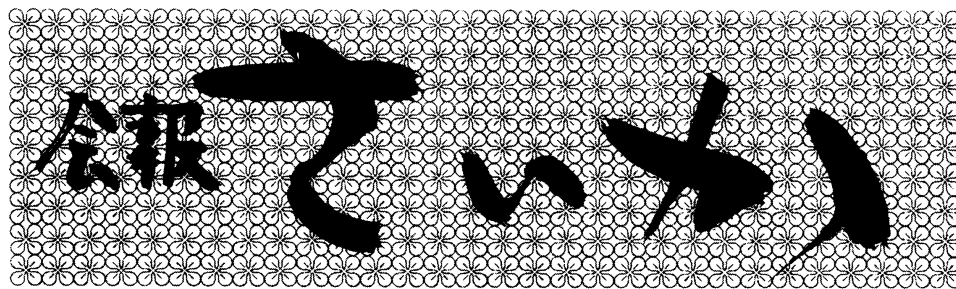
第 46 号

発行所

茶道裏千家淡交会
石川南青年部

石川県小松市小馬出町 123
松本パークハウス 24 号
TEL0761-24-6457

印刷社名
(株) 鶴川印刷



年間テーマ・目標

「目指そう！100」

茶道裏千家淡交会石川南青年部会報

総会・ランチ懇親会

平成 29 年 1 月 29 日(日)、小松市芦城センターに於いて、石川南青年部総会が行われました。

石川南青年部幹事長で青年部育成委員会の岩谷宗久先生と青年部育成委員会の村本宗由先生をお招きし、ことば・利休居士道歌の唱和、ご来賓の方の挨拶などに続き、議案審議の案件も円滑に承認されました。

その後、新入会員の皆さんが自己紹介をされ、緊張しながらも今後の抱負などを思い思いに語っていました。また新役員の紹介もあり、石川南青年部としての新体制がスタートしました。総会終了後には、委員会ごとに分かれ、今後の活動について打ち合わせを行いました。

午後からは、小松市にある地中海料理「夢屯(むーとん)」に場所を移し、ランチ懇親会を行いました。食事をしながら、今後の青年部活動について話をしたり、ゲームをしたりと終始笑い声の絶えない楽しい会となり、会員同士の交流も深まりました。

(北嶋 恵里香)



「ランチ懇親会に参加して」

石宮 香織

今年度から青年部の活動に参加させていただきま。和気あいあいとしていて温かい方々ばかりでこれからが楽しみです。活動を通して茶道のことをさらに学んでいきたいです。よろしくお願いします。

「初めて青年部活動に参加した日！」

行松 妃奈子

この日、初めて青年部活動に青年部会員として参加させていただきました！

小さい頃はよく両親と一緒にジャンボリーに参加していて、すごく楽しい時間を過ごしていたことが本当に印象的です。あんなに素敵なイベントを企画していた皆さんと一緒に活動できることが楽しみです！初めに会う方ばかりで緊張していましたが、会員の方々が笑顔で声をかけてくださったおかげで、緊張もほぐれ、いろいろな方とお話することができました。ランチ懇親会では、総会とはまた違う雰囲気です。皆さんがキラキラした場所を創っていました。すごく魅力的な方々ばかりで、もっと皆さんのことをたくさん知りたいと思いました！



ユニークなゲームの中で、景品ももらえたことがとても嬉しくて、ゲーム中の景品は私のお気に入りです。また皆さんと交流できる機会がすごく楽しみです！これからの青年部活動で少しでも力となるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

青年部行事体験会

平成 29 年 3 月 5 日(日)、小松市芦城センターに於いて、青年部行事体験会がありました。まだ青年部に入られていない方に、いつも私たちがどんな活動をしているかを知っていただき、また実際に体験できるという趣旨のもとに行われました。日頃お世話になっている先生方をはじめ、お社中の方、青年部会員、青年部 OB などたくさんの方々にご参加いただきました。

今回は行松旭松堂・工場長の浜中剛氏による和菓子作り体験、うつわ工房すいか(水火)の九谷焼作家で、青年部会員である岸野直樹氏による陶芸体験、最後に自身で作った和菓子とともにお茶をいただくといった盛りだくさんの内容でした。

それぞれの体験で初挑戦の方も見受けられ初めは上手いかない様子でしたが、講師の方より助言を仰ぎつつ試行錯誤し、各々の個性が映える作品が出来上がっていました。

そして今までの活動の様子のスライドを見ながら、行松明美部長より、茶道を通じたたくさんの方々と出会い、貴重な体験ができること、今後の活動

予定などのお話がありました。この体験会を通じて青年部の魅力が少しでもお伝えできたかと思っています。

(立花 千佳)



「青年部行事体験会に参加して」

北嶋 恵里香

青年部行事体験会に参加させていただきました。

和菓子作りでは、ご銘が「誓い」という、浜中工場長がブーケをイメージして作られたとても華やかで優しい色合いのきんとんを作りました。浜中工

場長がお手本を作るのを見ながら教わり、いざ自分で作ってみるのですが、やはり思ったように作るのは難しく、いびつな形になってしまいました。しかし、最後に氷餅というキラキラした粉を仕上げるにまぶすと、生れてはじめて和菓子を作れたという感動もあり本当に輝いて見えました。

次に粘土で蓋置を作る陶芸体験をしました。手先が不器用なので、こちらもなかなか思い通りに作ることができず苦戦しましたが、実際のお点前で使うところを想像しながら、自分の手でお道具を作製するのが楽しかったです。焼き上がりがどんな風になっているかとても楽しみです。

最後に先ほど作った和菓子と一緒にお茶をいただきました。行松部長から青年部に対する思いやこれからの活動の目標なども伺い、青年部会員としてこれからやりたいことや自分が何をすべきかを再確認しようと思いました。また、普段のお稽古やお茶会で使っているお道具やお菓子を自ら作ることが今までとは違った視点から見ることができ、茶道の知識をより深めたいと改めて感じました。



「青年部行事体験会に参加して」

スミス めぐみ

啓蟄の今日は、暖かい春の日となりました。どんな和菓子を作るかな？陶芸では、どんな感じのものを作れるかな？と、楽しみにしながら会場に向かいました。

私は始め、呈茶のお部屋の準備と一緒にさせていただきました。行松明美部長が、あちこちに気を配りながらたくさん動いている傍らで、何か少しでもお役に立てれば、という気持ちでお手伝いをさせていただきました。お部

屋では、青年部会員が今までの行事で作った作品の展示や、活動の様子を流すスライドなど、いろんな工夫がなされていました。また、懐紙の上には、部長の手作りの水引がちよこんと置かれてあり、和菓子作り、陶芸体験を終えられ、呈茶に来られた方々からは「かわいい！」「これは何結びですか？」などの質問もあり、皆さん興味津々のご様子でした。

今回は、先生方も参加して下さったのですが、笑顔で優しい言葉をかけて下さったり、「楽しかったわあ。」と言った下さったりと、とても嬉しい気持ちになりました。

また、私は第3グループに混ぜてもらい、体験もさせていただきました。ブーケに見立てられた「誓い」という素敵な名前の、目にも美しい和菓子を作りました。次に、陶芸体験にも参加し、土の楽しい時間を過ごしました。思い描く形はあるものの、なかなか思うようにはならず、また、最後の仕上げのつもりで触つたのに、フニャッと崩れてしまい、慌てて直したりと、私にとつては、最後まで気が抜けない作業でした。でも、周りを見渡すと、個性的な素敵な作品を作っておられる参加者の方々がいて、余裕さえ感じられ、楽しまれているのが伝わってきました。



した。焼き上がりが楽しみです。自分で作った和菓子とともにお茶をいただく事は、青年部ならではの活動だと思えます。春の暖かさと同じような暖かさで、参加された方をお迎えできていたらいいなあ、みんな楽しく活動できたらいいなあ、と思いながら会場を後にしました。様々な形で行事に関わられた会員の皆様、お疲れ様でした。

蜜夜茶会

平成 29 年 3 月 13 日(月)夜、小松市
芦城公園内・仙叟屋敷に於いて、「蜜夜
茶会」が行われました。このお茶会は
小松青年会議所様が仙叟屋敷の 20 周
年を契機に企画したお茶会で、青年部
に運営の協力のご依頼をいただき参加
しました。

室内を少し暗くしつつ、お庭をライ
トアップすることで、普段とは一味違
う雰囲気の中にも暖かみを感じられる
お茶会となりました

今回のお客様は茶道の初心者の方ば
かりで、フェイスブックなどで茶道の
楽しさを PR されている方もおられま
した。スーツ姿の多い席、若い方の多
い席など、3 席それぞれお客様の雰
囲気も違っていました。おもてなしをす
る方も普段のお茶会とは違う雰囲気
にわくわくした感じで参加できたこと
と思います。

初めて他の団体と協力することで、
段取り、周知力、発信力など学ぶこと
も多く、青年部会員が自分たちを見直
すことができた良い機会になったこと
と思います。

今回のお茶会を契機に、また新しい
企画をしていければと思います。

(松岡 未果)



茶道具講座 & 新入会員歓迎茶会

平成 29 年 4 月 9 日(日)、小松市芦
城公園内・仙叟屋敷に於いて、茶道具
講座、並びに新入会員歓迎茶会が行わ
れました。今回は、お茶会のお道具を
お箱から出すところから片付けるとこ
ろまでを学ぶ流れになっており、歓迎
茶会の前後に茶道具講座を行い、お茶
会に添ったとても実践的な講座になり
ました。

茶道具講座では、講師に富山市の茶
道具店・栗林園の栗林満さんをお迎え
し、茶道具の扱いの基本を一から細か
く教えていただきました。まず、お軸
の扱い・掛け方、お花は野にあるもの
をただ切りとるのではなくどう生ける
か考えて採ることなど、基本的なこと
以外にもちよつとしたコツについても
ご指導いただきました。お道具の準備
まで行なった後は、新入会員歓迎茶会
が行われ、今年度の新入会員の方々に
お客様に講師の栗林さんにもご出席い
ただき、美味しいお茶とお菓子で皆楽
しいひとときを過ごしました。

お茶会後には、講座の後半として、

お釜に始まりお道具のしまい方まで丁
寧に教えていただきました。最後に、
栗林さんからは「知識を得ることによ
つてものを扱う時の手助けになる、ぜ
ひ頑張つて勉強してほしい」とのお言
葉をいただきました。会員一同、楽し
みながら学ぶことができた大変有意義
な一日となりました。

(武田 奈津)



「おもてなしの心」

中川 さゆり

茶道具講座と新入会員歓迎茶会に参加させていただきました。子育てが少し落ちつき、初心にかえつての再入会。茶道具講座は、道具の扱い方が未熟な私にとって、とても有意義な時間となりました。栗林先生から一つひとつ丁寧に教えていただき、これからは自らが道具を扱うことを楽しもうという気持ちになりました。

その後の歓迎茶会では、顔が隠れるくらいの大きなお茶碗を始め、華やかなお道具に囲まれ、楽しくお茶をいただきました。この日のために、青年部の方々がいろいろ考え、準備してくださったと思うと、胸が熱くなり、感謝の気持ちでいっぱいです。

栗林先生や青年部の皆さんの姿を見し、お客様に楽しんでもらおうという「おもてなしの心」の大切さを改めて実感しています。このような機会をいただき、本当にありがとうございます。



「茶道具講座・歓迎茶会に参加して」

山本 潤子

この度、青年部に入会させていただきました。山本潤子と申します。行松部長よりご紹介いただき、つい「イエスカハイで・・・」という事で答えてしまいました(笑)。

4月9日(日)桜が咲き誇る公園内の仙叟屋敷にて茶道具講座と新入会員歓迎茶会に早速参加させていただきました。

栗林満先生の茶道具講座は、茶席の準備から片付けまでを教えていただきました。これまでは見よう見まねでやっていた事でしたが、それぞれに意味があることを教わり、とてもわかりやすかったです。また先生のユーモア溢れるお人柄に吸い込まれ、時間はあっという間でした。

歓迎茶会では、初めて拝見するお道具ばかりで、鵬雲斎大宗匠お好みの田楽箱は栗林先生も茶席で見られたのは初めてとおっしゃっていました。五羽のうさが並ぶ大きな大きなお茶碗

(奈良の西大寺での大茶盛を再現?)

には家族愛が感じられ、会員との今後の友好の願いを込めて選ばれたお茶杓のご銘が「シエクハンド」と伺い、先輩方の温かいおもてなしに感服いたしました。

ました。

こんな素敵な先輩方とこれから活動できることをとても嬉しく思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



懐石料理教室

平成 29 年 5 月 28 日(日)、小松市

芦城センターに於いて、懐石料理教室が行われました。講師に越前市より、料亭鎌仁別荘(かまにべつそう)・茶懐石佳秀の店主、小野谷佳剛先生をお迎えし、日ごろお世話になっている先生方 8 名と青年部会員 16 名が和気あいあいと懐石料理について教わりました。はじめに「おもてなしの心とは」「料理とは」などの興味深い講座をお聞きし、その後グループに分かれ懐石料理づくりに挑戦しました。今回のレシピは「胡麻豆腐」と「真薯」。だしの取り方や材料、調味料の選び方など、料理の基本や美味しく作るコツを楽しく丁寧に教えていただきました。

どのグループもチームワークが良く、美食では「美味しい!」「家でも作ってみんなね。」などの声が聞こえ、懐石料理を身近に感じられる貴重な体験となりました。

また、先生方と料理作りからいただくまでを一緒にさせていただき、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

(中川 さゆり)

「美味しかった懐石料理」

宮田 裕女

今回、懐石料理教室に参加して懐石料理を作るにあたってのお話を聞き、実際に料理を作る体験をしました。体験では、学生時代の家庭科実習を思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。食べてみて、真薯、胡麻豆腐ともにとっても美味しかったです。みんなで協力して作ったからだと思います。このような貴重な体験をさせていただけたことを、とても嬉しく思います。今回学んだことを活かして、今後懐石料理にチャレンジしてみたいです。



「懐石料理教室に参加して」

岩谷 華織

家庭でも作れる「真薯」と「胡麻豆腐」を作りました。真薯は、懐石料理で手作りすると喜ばれると先生がおっしゃっていて、私はどちらも初めて作るのでも楽しみでした。

最初の講義では、おもてなしの心についてや、料理は相手を思って心を込めてこしらえる、相手のために心を尽くすことが大切、と学びました。

そしていよいよお料理作り。おいしく作ることは、何度も繰り返し作ること、と教えていただきました。

胡麻を練る時の練り方だめらかさが変わること、真薯はすり鉢でするときに出来上りが変わることなどを知り、日本料理の奥深さを実感しました。

家族で同じグループでのお料理作りで、少し緊張しましたが、とても和やかに楽しくお料理できました。実食の時に、「おいしくできたね」と話ながらいただきました。胡麻豆腐は、持ち帰って冷蔵庫で冷やして固めてから食べましたが、おいしかったです。今回学んだことを家庭でも実践してみたいと思います。



新入会員紹介



石宮 香織
大田宗理 社中



岡 康子
大田宗理 社中



徳野 裕季子
糀元宗貞 社中



土定 万理子
岩谷宗久 社中



中川 智仁
上出宗智 社中



中川 さゆり
上出宗智 社中



東出 雪絵
生熊宗丘 社中



二木 優貴乃
推薦者 行松部長



宮田 裕女
倉元宗玲 社中



山本 潤子
上出宗智 社中



行松 妃奈子
西田宗篤 社中

石川南青年部へ
ようこそ♪



4 月 9 日

茶道具講座 & 新入会員歓迎茶会 仙叟屋敷にて



青年部会員大募集中♪

私たちと一緒に活動しませんか？
お気軽にお声かけください。



淡交会支部事務所

0761・24・6457 もしくは

石川南青年部部長 行松明美

090・2837・9330

メール hinakanarisa@yahoo.co.jp

役員紹介



部長

行松 明美
岩谷宗美 社中

目指そう♡100人
目指そう♡その時その時の100%
目指そう♡出席率100%達成行事
一緒にたのしく活動しましょう♪



副部長

松岡 未果
村本宗由 社中



総括幹事

竹中 亜希子
浜口宗裕 社中



幹事(会計)

武田 奈津
村本宗由 社中



幹事(会計)

山本 千春
小島宗孝 社中



幹事

岩谷 華織
松本宗貴 社中



幹事

喜多 晶美
糺元宗貞 社中



幹事

スミス めぐみ
徳山宗喜 社中



幹事

橋本 真季子
山上宗富 社中



幹事

三ッ井 達也
岩谷宗美 社中



監事

岩谷 樹
岩谷宗久 社中



茶事推進委員会

委員長
西村 明子
小島宗孝 社中



地域協力・ジュニア交流委員会

委員長
苧野 直樹
石田宗枝 社中



広報委員会

委員長
北嶋 恵里香
村本宗由 社中

編集後記

今期から広報委員長を務めさせていただきます北嶋です。
さいか46号を先輩方や広報委員の皆様のお力添えで発行することができました。

今年1月から行松明美部長を中心に新役員で進めていくこととなり、今までの伝統を受け継ぎつつ、新たなお茶の楽しみを、会員の皆様と共に行事を通して見つけていけたらと思います。

4月には仙叟屋敷ならびに玄庵開庵20周年記念特別講演&記念茶会が開かれ、鵬雲斎大宗匠の貴重なお話を拝聴し、改めて茶道への想いを再確認することができました。

まだ何かと力不足ではありますが、これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

(北嶋 恵里香)

「さいか(細花)」とは?
細かい花のようにお茶が点っている様子を表した言葉。
会員一人一人は小さい花かもしれないが、みんなが集まって青年部として一つの大きな花を咲かせていけるように、という気持ちで込められています。